

図書館だより

'86. 4

没後50年・夢野久作

『ドグラ・マグラ』より
おそろしいのか
母親の心がわかって
何故躍る
胎児よ
胎児よ
巻頭歌



久作逝いて50年、その作品は今なお我々を魅了し続ける。ドグラ・マグラ、あやかしの鼓、押絵の奇蹟、死後の恋、氷の涯等々。この世界を知らずしてキミは大人になることはできない。

『夢野久作全集』全7巻 三一書房（請求記号918.6-Y97s）

『夢野久作著作集』全6巻（既刊3冊） 葦書房（請求記号918.6-Y97a）

目次

サッポロ 資料散歩	2	自己紹介による図書館職員ラインアップ1	7
「図書館だより」既刊号内容案内	4	大館光男・小杉ゆう子	
「図書館をあなたのものに」内容一覧		藤に咲く花1	8
連載 北海道の文学1	6	お知らせ	8
「北海道文学大事典」			

ザッポロ

資料散歩

新学期を迎え、皆さんも気持ちを新たに張りきっていらっしやることと思います。今回の特集は、この春から新しく札幌市民になった方のために、“札幌に関する本”の一部をとりあげて紹介してみました。もちろん札幌生まれのあなたにだって楽しい本がいっぱいあります。



札幌の街造りは、明治2年(1869)、蝦夷地が北海道と名を替え、この地に開拓使が置かれた年に始まる。なぜ札幌が開拓の中心に選ばれたかについては、諸説紛々としている。中には、札幌は酸醬あじょうの多く茂る地で、古来酸醬の繁茂する所と鳥の集まる所は、市街地として繁栄するとの俗説によったという面白い説もある。それにしても、札幌沿革史(明治30年)に“鬱々たる密林、芴々たる茅野相接し、狐兎棲息し、熊鹿出没し、真に野獣の巢窟たりき”と描かれた荒野が、わずか120年にも満たない歳月のうちに、今日のような大都市に発展したところをみると、酸醬の話もただの迷信ではないのだろうか…。

札幌市の成立と発展の記録のひとつ、新聞と人名録にみる明治の札幌は、明治期に発行された資料をもとに、開拓の風景や人々の生活ぶりを伝え、北海道人名辞書等の主要人名録を原本に、札幌の基礎を築いた人々781人を紹介するものである。その中でも、「札幌区さっぽろの成育」「聴いて置き度い昔噺」は、明治の札幌に生き、開拓につくした人々の思い出話であり、草創期の様子が実に生き生きと語られている。さっぽろの昔話 明治編(上・下)も、開拓民として札幌に生きた古老の聞き取りである。明治5年の御用火事の頃は、焼かれた家よりもスリ鉢の方が貴重だった話などは興味深い。ほかに類書として、さっぽろ文庫 26 明治の話があげられる。

札幌の歩みを地図なり写真なりで確認する資

料として、さっぽろ文庫別冊 札幌歴史地図、札幌歴史写真集、それとふるさとの思い出 85 写真集 明治・大正・昭和 札幌がある。使われている古地図や写真は、いずれも貴重な珍しい資料で、それが視覚に訴えるだけに、札幌の移り変わりを実感することができる。さっぽろ文庫別冊 札幌生活文化史は、衣食住の3局面を中心として、人々の暮らしを写真やスケッチにより紹介する。その明治編では、それまでの生活に西洋の文化の良いところを取り入れて、厳しい北の大地に適した独自の生活文化を創造していった、明治人の知恵とたくましさを感じられる。

さて、これらの資料に登場する先人達の開拓精神を土台にして、札幌は大都市に変貌した。しかし、現在も一日ごとに姿を変える都市の中に、開拓当時の面影は失われつつある。さっぽろ歴史散歩は、60余年に渡って札幌の発展を見てきた著者が、今の景観に歴史の片鱗をさがし求める本である。都市部の散歩道として「開拓使の道」「開墾と美術の道」「円山一周の道」の気軽に歩ける3つのコースが設定されている。さっぽろ文庫別冊 札幌文化地図は、市内の指定文化財・遺構・遺跡・碑像等の所在地を示す地図である。その付録でポケットサイズのいまむかし札幌を歩くは、札幌歴史散歩、文学散歩の折のガイドブックにもなる。

ところで、札幌を訪れた観光客は、最も印象に残っている場所として“大通公園”を1位に

あげるそうである。市の中心部を南北に分けるこの公園は、開拓の初めは火災から街並みを守る火防線であり、戦争中には家庭菜園として市民に食糧を供給し、戦後は雪まつり会場として国際的に知られるようになった。札幌のシンボルでもある大通公園の歴史を、できるだけ史実に基いて克明に、しかも平易に表現したのが、さっぽろ・大通である。今でこそ手入れがゆきとどき、人々の目を楽しませてくれる花壇や、名物のトウキビ売りに、明治からの歴史が息づいている。さっぽろ文庫 32 大通公園も、その設定の起源から現在までの姿を紹介し、5月下旬のライラックまつりなどの催しの由来、四季折々の風景、石川啄木や有島武郎らの文学作品に描かれた大通公園の様子を紹介する。

さて、大通公園や中島公園などは、市内でも草花に接することができる憩いの場であるが、ちょっと郊外に足をのばすと、野の花や野鳥の姿を楽しめる大自然がある。さっぽろ文庫 20 札幌の自然は、札幌の豊かな自然を紹介し、誰でも気軽に自然観察が楽しめるようなガイドブックでもある。第1章「道に沿って」では、市外へのびる5本の幹線道路沿線について、日帰り圏内の自然の見どころをいくつか紹介する。「札幌自然遊歩道一覧」は、2キロメートルから30キロメートルまでの10の自然観察ルートを紹介する。利用交通機関もあげられているので、マイカーがなくても簡単に出かけられる。

札幌の南西部は山岳地で、三角山、手稲山、藻岩山などの山々は、夏はハイキング、冬はスキーと私達を楽しませてくれる。札幌から見える山は、四季折々の山の写真と色鮮やかなスケッチから、これらの山々をなつかしむような本である。それぞれの山の魅力を紹介する筆者のエピソードも楽しい。

札幌の鳥たちは、野鳥観察の初心者入門書として、見られる頻度の高い鳥60種を紹介する。観察上、識別の手がかりとなる情報が多く盛り込まれている。また、野鳥の瞬間の動作や表情を、みごとに捉えた写真が大きくレイアウトされていて、見る楽しさも味わうことができる。

この本によると、センダイムシクイの「焼酎いっぱいグイー」という鳴き声も、近郊の林で聞かれるようである。

札幌は緑の多いまちとしても有名で、並木についても他市にくらべて格段に多く、その種類も豊富である。風に揺れる並木の風景は、札幌を舞台にした多くの文学作品の情景描写に欠かせない素材となっている。

“30年も以前にアメリカから取り寄せて植えつけたと聞いたアカシヤの樹が、この南北に渡る中央通りの両がわに、ずらりと立ち並んで、家毎の家根を越えて葉を繁らしている。”

これは、岩野泡鳴「放浪」(明治43年)のなかの一文である。ここに出てくるニセアカシヤをはじめとして、ポプラ、イチョウ、ハルニレなど、札幌とその周辺の並木のうちよく見られる24種を中心にして紹介する本が、札幌の並木である。見返しの札幌並木地図によると、本学の近くには、ナナカマド、ヤマモミジ、イチョウなどの並木があるそうである。

最後に紹介する本は、札幌の味。数ある札幌の飲食店の中から110店余りを紹介する。グルメの散歩には欠かせないガイドブックである。頬を撫でる風にも、春の匂いが感じられるようになった。休日には、歴史散歩や自然観察に出かけ、学生生活をエンジョイしよう!

◆◆◆ ク イ ズ ◆◆◆

次あげるのは、札幌で見られる鳥たちの名前です。それぞれ何と読むのでしょうか? このページに出てきた本を参考にお考えください。 解答は8ページ。

- ① 雲雀
- ② 翡翠
- ③ 百舌
- ④ 熊啄木鳥
- ⑤ 懸巢



「図書館だより」既刊号（1-22号）内容案内 1

雑誌「暮しの手帖」の表紙裏に毎号取っている花森安治のこぼしを、あなたは読んだことがありますか。

これはあなたの手帖です
いろいろのことが ここには書きつけてある
この中の どれか 一つ二つは
すぐ今日 あなたの暮しに役立ち
（以下省略）

文中の「手帖」を「図書館だより」におきかえれば、これはそのまま、この「図書館だより」を作り続ける私たちの気持です。

多くの雑誌は既刊号（バックナンバーと言います）を揃えることによって、一段と価値を増すことはご承知でしょう。私たちの「図書館だより」も、創刊号からの集積が総和として、図書館の資料とその利用法を皆さんにお伝えできるよう、心がけているものです。ですから閲覧室には常にバックナンバーを用意して、皆さんの利用に備えています。その利用の手引として、「図書館だより」の内容案内を掲載します。

第1回は、長い間メインとして組まれていた「図書館をあなたのものに」の一覧です。連載物と考えていなかったため、もともと通し番号はありません。今回、仮に付しました。

「図書館をあなたのものに」内容一覧

1. 図書館をあなたのものに 第3号 1976.6
図書館利用の全般にわたって、まずはイントロ。
2. 雑誌等の利用を中心に 第4号 1977.2
当館所蔵雑誌および雑誌一般の掲載記事・論文の探し方を中心とした案内。
3. 家政科の学習の為に 第5号 1977.9
家政科関連資料の探し方の基本を案内する。関連主要雑誌、主要参考図書リストおよび家政科教員による推薦図書リスト付載。
4. カード目録を中心に 第6号 1978.2
なじみにくいと言われる、しかし、使わなければクラスメイトにひけをとるカード目録のやさしい(?)解説。
5. 文献複写をめぐる 第7号 1978.7
毎度おなじみ図書館の複写。安直便利の代表格だが、でも気をつけようマナーと法律。
6. 本をさがす・和書の場合 第8号 1979.1
必要な資料を迅速適確に探しだすのは意外にむつかしいもの。先生方もそうおっしゃいますし、我々図書館員もそう思います。二次資料の使い方を中心に、Q&Aでノウハウの一端を紹介する。
7. 雑誌AからZまで 第9号 1979.5
当館所蔵雑誌を中心にウンチクをかたむける。毎ページに添えられた各誌の表紙写真も一見の価値あり。
8. 人物・人名(日本)の探し方 第10号 1979.12
お世話になることの多い人名事典およびその関連資料。しかし、沢山あって迷うことも多い。

そんな時のために、ぜひ読んでおこう。

9. 英語の学習と図書館 第11号 1980.6
英文科の学生を対象として、和洋の英語辞典を紹介する。先刻承知などと言わずに読んでください。
10. 保育関連資料の紹介 第12号 1980.12
保育科の学生のために、基本的な辞書事典、雑誌、文献目録を紹介する。
11. 入門読書あんない 一般教育の中から 第13号 1981.4
一般教育担当の教員が語る講義のポイントと推薦図書、必読図書。
執筆者：近野亘（宗教学） 鬼丸吉弘（美学） 佐々木隆介（社会学） 林新治（生物学）
井上修梧（体育） 松本咲子（書道）
12. 入門読書あんない 国語国文学 第14号 1981.12
各時代別および国語学への資料紹介を中心とした案内。
執筆者：中山周三（万葉集） 藤村深（中古） 伊藤敬（中世） 青木正次（近世） 山田昭夫（近代） 佐藤宜男（国語学）
13. 英文学関係の図書 第15号 1982.6
作家論、文学史、文学鑑賞、関連分野等について所蔵資料の駆け足紹介。
14. レポート論文作成のために 第16号 1982.12
レポート？ ロンブン？ 大学で初めて経験するヤっカイなシロモノ。これを読めばあなたも書ける？ レポート論文の書き方参考資料リスト付載。
執筆者：山田次良（栄養学） 石崎優子（保育学）
15. 卒業論文作成のために 第17号 1983.6
ついに出ました、ああ卒論。その作成の心がまえと方法をやさしく述べる。
執筆者：江草久司（英文学） 日高昭二（国文学） 後藤昌彦（社会福祉）
16. 新学期を迎えて 読書特集 第19号 1984.6
新学期と読書をくっつけたのは我田引水図書館の強引さ。とまれ、各分野の必読書、推薦図書をどうぞ。中身は濃いゾ。
執筆者：宇山銚子（保育学） 石井よう子（調理学） 奥山わか子（教育心理学） 新聞利朗（英語学） 三浦良一（育児学） 近野亘（宗教学） 山田次良（栄養学） 川端ひろ子（体育） 後藤平吉（法学） 鈴木智子（国語学）
17. 文庫本をめぐって 第20号 1984.11
巷にあふれる文庫本。その歴史と特色についてのオシャベリ。
18. 指定図書 その使い方 第21号 1985.6
多くの学生が避けて通れない指定図書。4人の教員がそれぞれの意図などを述べる。
執筆者：山北タツエ（英文学） 小笠原克（国文学） 藤楨子（国文学） 黒川昭和（教育学）
19. 大型別置資料紹介 第22号 1985.11
画集や特殊な複製資料等、書庫の片すみに別置されている資料に光をあてる。
執筆者：鈴木智子（国語学） 三浦房江（被服学） 石井よう子（調理実習） 鬼丸吉弘（美学） 落合健一（哲学）

連載 北海道の文学 1

『北海道文学大事典』 北海道文学館編
北海道新聞社 昭和60.10刊 (910.26-H82)

「北海道文学」がひとつの命題として意識され、多くの人々の耳になじむようになったのはそう以前のことではない。だが昭和58年から刊行された『北海道文学全集』全22巻別巻1、同58年の『北海道児童文学全集』全15巻はそれぞれ目出たく完結し、いまや「北海道文学」は安定した用語となっているようである。

わが藤女子大学は、この分野における第一線の研究者を擁し、図書館も徹力ながら意識的に関係資料の収集に努めており、「北海道文学」研究のひとつの拠点になっていることは、自他ともに許すところである。今後しばらくの間、所蔵資料を中心に北海道の文学のあれこれを紹介してみたい。



最初にとりあげるのは、昨秋刊行された『北海道文学大事典』である。府県別の百科事典は珍しくないが、文学事典は同書編集後記に言うように、おそらくこれが初めてだろう。だが、初物たるところが珍重の所似ではない。北海道文学館の長い堅実な活動と、先にあげた二つの全集を基礎に、人名編2,283、雑誌編718、事項編138、計3,139項目を、A5判770頁にまとめあげたのがこの事典で、執筆者も340名の多きにのぼる。まさに関係者の総力を結集した記念碑的な労作と言えよう。そして「刊行の辞」に言うごとく、「総量」として「現在の(北海道文学)館ができる最良の事典」ではあろう。では、質の点ではどうなのか。

まず指摘したいのは、日本近代文学館編『日本近代文学大事典』(講談社)のスタイルを真似たために、人名編がひきにくいものとなってしまった点である。つまり、姓と名を区切らずに1語として排列した結果、たとえば「北けんじ」と「北杜夫」の間に北沢、北嶋、北野、北原その他が入ってしまったのである。しかも、排列の順位をも示すべき見出しの下に添えられた「ヨミ」は姓と名を分けているのだから、余計紛らわしい。まずいところをなぞることはあ

るまい。

また、この種の事典の事項編では、項目の設定は殆ど100%編集者の意志によるものであり、使わせていただく方はどんな語句からひけばよいのか、困惑することが屢々ある。どうせ排列の仕方が人名、雑誌、事項の3編とも同じであるなら、本文を一本に、索引を分割した方がよかつたのではないだろうか。索引にしても見出し項目だけの索引とは芸がなさすぎる。文学事典ならば当然のこと、書・誌名索引も不可欠だろう。

「最大の難関は項目の選定とスペースの割り当て」と編集後記にあるが、それに何故か言及されない執筆分担を加えれば、確かに大変な作業であったろうことは想像に難くない。しかし、ずっと読んで行く中に佐藤忠良や本郷新が出てきて、広い目くばりを感じさせたのに、芸術院恩賜賞まで買った片岡球子がなかったり、東京の某有名編集者の名を見て、はてと読んでみたら、何と某出版企画に関係しただけなどという例に出会うと、果して本当に他意のない選定だったのか、首をかしげたくなる。

以上の諸点は、しかし、どちらかというところの事典の評価としては項末事に属する。重要な

のは記述内容の正確さ信頼性である。戦前の文学事典や人名事典の類いにもきちんと載っている或る天明狂歌の代表的人物の項は、どんな典拠によったか知らないが、人名のヨミを間違い、おまけに周知の生年を不詳としている。また、或る雑誌の項は、記述内容から推して、現物確認をしていないと判断される誤りを犯している。いずれの項も執筆者はその分野では著名な人物なのだから、何とも恐れいる。あまりにも杜撰な例にぶつかる、他の項目まで疑いたくなるのは当然だろう。調べ事は必ずウラを取れという鉄則を忘れない限り、めったに危ういことはないだろうが、最初からこの事典を色眼鏡で見

なければならないとしたら、何とも不幸なことではある。刊行時までに気付かなかった誤記、誤認、誤植は、いずれかの機会に正されるべきだろう。

つつい批判めいたことばかり並べてしまったが、この事典の価値は如上の点によって失われるものでは毛頭ない。府県別の百科事典がそれぞれの地方に密着しているが故に有用なように、『北海道文学大事典』も従来尋ねようのなかったマイナーな人名や雑誌について、圧倒的な量の情報を与えてくれる。使う側が間違わなければ、座右から離すことのできない重宝な道具なのである。

自己紹介による 図書館職員ラインアップ 1

大館光男 整理部主任

ええ、わかっています。美女と野獣。だけどアナタ、のっけから登場するのもお役目だから仕方ないんです。普段は1階の事務室にいます。整理部ってのは本の目録を作ったり、ラベルなんかをベタベタ貼ったりするわけですが、それについて、言わば我が精励優秀なる係員のアラさがしを主要な任務とするという、まことにバチあたりな仕事をしています。陰險なアイツにビッタンという声のあることも承知しています。最近洋書目録の電算処理のためにパソコンをいじってます。数学が大の苦手だったのに何の因果かと思えますが、周囲の目には楽しく遊んでいるように写るらしいです。昭和19年札幌生まれ。勉強ざらいと根気の無さで、小さい時から恥ばかりかいてきました。一応日本史をかじりましたがすっかり忘れちゃった。趣味も信条も持ちあわせず、我ながらつまらない人間とは思いますが、ここまで来たらどうしようもありません。それでも妻と子供2人がいます。

小杉ゆう子 奉仕部

貸出カウンター担当です。

見た目は柔そうな仕事ですが、美術全集を5冊もいっぺんに持ち上げたり、書庫の階段を何度も往復したり、時には本棚までかついで運んだり、パワフルに肉体労働もしています。

2月生まれの水瓶座、血液型はABというところ、何となく知的なイメージですが、実際はご覧の通り。児童文学が好きで、お気に入りの作家は小川未明、佐藤さとる、リンドグレーン。この頃は絵本も集めています。これといって趣味といえるものはありませんが、時々テニスラケットを振りまわして、運動不足解消にも励んでいます。アラ！もしかすると、その“美女”っていうのは私のことでしょうか？友だちには、のらくろとゆでたまごに似てると言われてはいますが、でも本当は、のらくろとゆでたまごが私に似ているんです。さて今年は、図書館だよりの編集委員としても張りきっています。何かご意見、ご希望がありましたら、どしどし聞かせてください。お待ちしております。

藤に咲く花 1

フジ Wisteria

花言葉

Welcome fair stranger

(ようこそ、美しき未知のかた)

写真撮影 公仕室 浦田 涯



Hand-drawn notices on a background of a tree stump and branches:

- お知らせ** (Notice)
- 図書館長二期目へ** (Notice to the 2nd term library director): 伊藤 敬教授が 2月の教授会で再び館長に選出され引を続いで職責に当られることになりました。
- 教育実習期間中の貸出期間については、ご相談に応じます。遠慮なくカウンターにお申し出ください** (Notice about loan periods during education practice).
- アメリカ関係文献目録が出来ました。文学・人物研究伝記を除く、アメリカ学関係の日本語図書574冊を収録しています。どうぞご利用ください。** (Notice about a new bibliography of American-related literature).
- 次号予告** (Next issue preview): 図書館だより24号は、雑誌に関する記事をおせて7月上旬発行の予定です。どうぞお楽しみに♡

クイズの解答 ①ヒバリ ②カワセミ ③モズ ④クマガラ ⑤カケス

お詫びと訂正

前号(22号)に誤りがありましたのでお詫びするとともに、下記のように訂正します。

頁	行	誤	正	10	3	近野宜	→	近野亘
目次	13	近野宜	→	近野亘	11	右26	エレベーターが	
7	左13	学習研究者	→	学習研究社			→	エレベーターか

藤女子大学 図書館だより
藤女子短期大学 発行者 札幌市北区北16条西2丁目

第23号 1986. 4. 1 発行
藤女子大学図書館